

リーディングDXスクール事業【実践事例】

瀬戸内町立諸鈍小学校（鹿児島）【指定校】
及び町内全小中学校【協力校】

【取組内容】 研修会もクラウド利用で業務改善



令和6年度鎮西・実久地区小学校研修会及び「学習者主体の授業」実現プロジェクト実践校区（第2回）研修会 瀬戸内町立西阿室小特設サイト

ボタンを押すと、それぞれの資料に移動できます。授業動画は、画面上部の「ホーム」にカーソルを合わせると見ることが出来ます。

（更新情報）
・2月27日（月）14:30までに、事前の授業動画視聴と、の付箋作成をお願いします。
・は最初にサインインを求められますが、「Continue with google/Googleで続行」をおす。またはは公式メールアドレスよりサインインしてください。
・第5回までの授業動画を「授業のつづき」としてアップしました。（122）
・単元終了後、児童にとった振り返りアンケート結果を「授業後アンケート結果」のページに掲載しました。（122）
不明な点は、西阿室小（0997-75-0440）、または、町にGmailでお問い合わせいただけます。御使用の申とは存じますが、御確認のほどよろしくお願ひします。

このサイトの使いかた、研修会及び授業動画の視聴の解説動画

【本資料】 研修会の進め方と、教科書学習指導要領

（指定資料） 使用した資料ページ

はじめと終わりの全体会（meetはこちら）

応用編 （3つの分科会ともこちら）

分科会1はこちら

分科会2はこちら

分科会3はこちら

当日の研修会からの発表用資料（Googleスライド）

フィジカルの使いかた（※Charmbookでの配信推奨。）

学校の様子2・4・5年児童が作成中の西阿室紹介サイト。

研修会アンケート（フィードバックに活用します。よろしければご協力をお願いします。）

※タイムスケジュールの開催で、研修会中にも分科会資料が配布されます。ご確認のほどお願いいたします。

【研修会の特設サイト】

1 授業を視聴する

- 事前に授業観察用資料を読み、割り当てられた児童の動画（YouTube）を視聴する。
- 子どもが言ったこと、教師が言ったことや行ったこと、学習課題や活動内容の事実を書き出す。

2 観察記録を確認する（以降、Meetでの話し合い）

- ① 事前の記録をもとにデジタルホワイトボードソフト上の付箋に入力し、時系列順に並べる。
- ② 子供の姿や教師の姿、授業の流れについて情報を共有する。

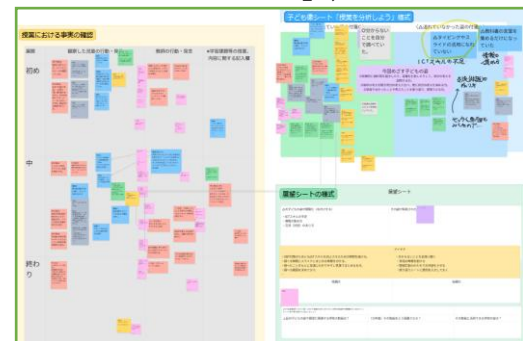
3 付箋整理し、分析する

- ① 青の付箋（子供の姿）が、目指す児童の姿に迫っていたら「○」、迫っていなかったら「△」を書き込む。
- ② 子供の姿（○）（△）を共有し、類型化し、類型化したものに名前をつける。

4 これからのことを皆で考える

- 課題を解決するために、学校全体として「短期的にできること」「長期的に取り組むこと」の提言を考える。

5 分科会ごとに発表し、共有する



<研修会を実施して>

- ・繰り返し児童の様子を見られたのはよかった。一つの授業の様子を複数のカメラで捉えており、今までのオンライン開催の授業より分かりやすかった。
- ・何と言っているのか声が聴きづらく、表情も読み取りにくかったが、子どもの学びの様子をじっくり見ることができた。機材で解決できる部分もあると感じる。
- ・参加者が一校に集まる「移動時間」と「旅費」、及び「印刷費」のカット、さらに当日の協議時間の増加並びに参加者のオンライン研修経験の機会そのものの創出という点で有効であった。移動コストのかかるへき地や島嶼部ほど効果が大きい印象である。
- ・チャットで、教育委員会や各学校の校長をはじめ、関係の先生方に随時進捗状況を見てもらえることで、計画・運営がしやすかった。